復興貢献の人材育成事業

Human resources development business that contributes to reconstruction

The Fukushima Innovation Coast Framework is a national project designed to build a new industrial infrastructure in the coastal region of Fukushima Prefecture in order to recover the industries that were lost due to the earthquake and tsunami on March 11, 2011 and the nuclear disaster.

Within the Framework, projects will be realized in the fields of robotics, energy, decommissioning, agroforestry and fisheries, and efforts are made to form industrial clusters, foster human resources, and to increase the number of visitors.

福島イノベーション・コースト構想は、東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するため、当該地域の新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトです。

ロボット、エネルギー、廃炉、農林水産等の分野におけるプロジェクトの具体化を進めるとともに、産業集積や人材育成、交流人口の拡大等に取り組んでいます。

2021採択事業として、広野町における未利用資源の探索と資源化みかんプロジェクト（継続）及び福島復興知学の深化と展開：ミルフィーユ型人材の育成基盤構築（新規）が採択されました。

事業名：広野町における未利用資源の探索と資源化　みかんプロジェクト

福島工業高等専門学校　　連携市町村：広野町
現地拠点：双葉郡広野町下北迫大谷地原65-3　二ツ沼公園パークギャラリー内　福島高専 地域復興支援室広野オフィス

事業のポイント

・未利用資源として微生物に注目して、小学生からシニア世代まで参加できる微生物の働きや利用を学ぶ機会を提供する。
・微生物の遺伝子解析によって有望な菌株の選定を行い、実用化に向けた性能評価や改良を試みる。
・農産廃棄物などの肥料化、オンサイトの再生可能エネルギーの活用、環境計測などで施設園芸農業の支援を行う。

人材育成目標

・農業・エネルギー・環境・リサイクル・バイオなどの分野で展開する活動を初等教育段階の人たちに科学的な情報を与えることで、地域が必要とするイノベーション人材の育成に寄与する。
・地域の活性化のための提案や取り組みに理解や支援できる人材の育成と環境醸成に取り組む。

図1　放課後理科教室の様子

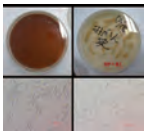


図2　単離した微生物

2021年度の活動内容

・放課後理科教室の開催（「微生物」に特化した学習活動の実施）
　（みかんから微生物を採取し培養しながら有用酵母菌の探索を行う）
・乳酸菌と酵母菌の探索（ぬか漬けコンテスト（仮称）などで有望株の探索
　（微生物の採取とDNA解析による有効株、新株の探索の実施）
・広野町産バナナ、マンゴーなどの生産支援活動を行う。
　（施設園芸農業のモデル化、育成環境の評価と改善案の検討）
・地中熱などオンサイト再生可能エネルギー利用の学習プランの検討
　（オンサイト再生可能エネルギーの利用モデルの提案、教材化検討）

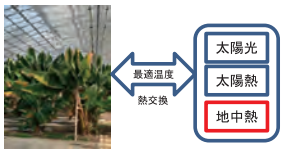


図3　オンサイト再エネ利用温室での栽培実証

取り組みによって得られる成果

・微生物に関する学習活動、乳酸菌・酵母菌の探索活動を切り口に微生物活用や遺伝子など正しい情報を提供できる。
・地域の乳酸菌、酵母菌類の情報、地域固有株の探索活動を特産品など社会に還元する活動につなげる拠点の構築。
・施設園芸農業の生産に不可欠な計測データの収集と解析による課題解決への取り組みの開始（省エネルギー、効率化の推進）

「事業名：福島復興知学の深化と展開：ミルフィーユ型人材の育成基盤構築」

東京大学（共同申請：福島工業高等専門学校、連携：福島大学、早稲田大学）
連携市町村：飯舘村、大熊町、葛尾村、富岡町、楢葉町、広野町、いわき市
現地拠点：双葉郡楢葉町下小塙妻入31楢葉町まなび館2階、相馬郡飯舘村佐須滑87（認定NPO法人ふくしま再生の会事務所内）
いわき市平上荒川字長尾30　福島工業高等専門学校内、双葉郡広野町下北迫大谷地原65-3二ツ沼公園パークギャラリー

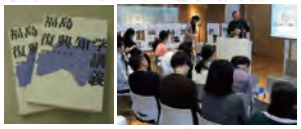
事業のポイント

復興知とイノベーション・コースト構想の推進に必要な多層的な知識・技能を身につけた人材を「ミルフィーユ型人材」とし、自治体・大学等・企業などの多様な組織と連携してミルフィーユ型人材を育成する。さらに、ミルフィーユ型人材育成を通じて、産業創出や国際的情報発信も行う。

小学生から成人に至るまでの多層的教育プログラムを通じて人材を育成。また、人材育成においても多層的な連携を実施。

人材育成目標

【地域を担う未来人材の育成基盤構築】
各ライフステージに応じた多層的教育を経て真の復興を担える人材を育成する。
【福島を舞台として、世界的視野で福島の発展を担える人材の育成基盤構築】
浜通りでの「まなび」をもとに学術文化を推進し、世界に情報発信できる人材を育成する。



地域と大学の人材育成基盤の構築と国際的情報発信

2021年度の活動内容

【地域を担う未来人材の育成基盤構築】
・連携する自治体・施設・企業等と協力して、エコミュージアム事業と国際会議等を実施。
・子ども科学教室、市民講演会、企業向けセミナー等の教育プログラムを実施。
【福島を舞台として、世界的視野で福島の発展を担える人材の育成基盤構築】
・東京大学、福島工業高等専門学校、福島大学等で復興知教育プログラムを実施。
・連携する浜通り自治体・施設等に大学生等を派遣し、フィールドスタディーを実施。
・放射線に関する卓越した教育研究を実施して国際的に情報発信。

自治体・地元施設と連携した人材育成と地域活性化

取り組みによって得られる成果

・多層的な知識と技能を身につけて地域の発展に貢献できるミルフィーユ型人材が育成される。
・「福島らしい」新しい学術文化を創造できるとともに、面的な地域活性化に貢献する。
・「福島ならでは」の卓越した教育・先端研究を実施し、復興知事業を国際的に情報発信できる。